

## 景観チェックシート（白沢地区）

（第1面）

※ 基準及び配慮した事項にレ点を入れ，その内容を記入してください。

項 目	基準及び配慮事項	配慮した内容																													
外部空間	規模・形状	<input type="checkbox"/> 継承されてきた宿場町の特徴ある敷地形状が作り出す街並みを維持するため，敷地形状の変更は行わないように努める。																													
	敷地の境界部	<input type="checkbox"/> 塀や柵は，生垣又は木材を使用したものとし，高さは視線の通る1.5m以下とする。 <input type="checkbox"/> 旧奥州街道に面する境界部において，建築物が後退している場合や空地，駐車場とする場合は，街並みの連続性に配慮し，塀や生垣等の設置に努める。																													
建築物・工作物等	建築物の高さ制限	<input type="checkbox"/> 原則，周辺の街並みや自然景観との調和に配慮し，違和感が生じないような高さとする。																													
	形態	<input type="checkbox"/> 歴史的な風情を残す建築物の外観や，大谷石を活用した石倉などの保全・活用に努める。 <input type="checkbox"/> 宿場町の歴史的な趣きに配慮し，和風デザインを採用するなど，周囲の景観と調和の取れた意匠とする。 <input type="checkbox"/> 木材や石材などの自然素材を効果的に使用し，宿場町の風情の演出に努める。 <input type="checkbox"/> 屋根は2方向以上に勾配を有する形態に努め，素材については和風感のある瓦又はそれに準ずるものとする。																													
	色彩	<input type="checkbox"/> 外壁・屋根の色彩は歴史的な風情に調和するものとし，基調色は下表のとおりとする。 <b>別表1</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr style="background-color: #d3d3d3;"> <th colspan="2">区分</th> <th>色相</th> <th>明度</th> <th>彩度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">建築物等の色彩</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">外壁</td> <td style="text-align: center;">有彩色</td> <td>YR(黄赤), Y(黄)</td> <td>6以上</td> <td>3以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">無彩色</td> <td>N(白～黒)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">屋根</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有彩色</td> <td>YR(黄赤), Y(黄)</td> <td>5以上</td> <td>3以下</td> </tr> <tr> <td>R(赤), GY(黄緑), G(緑)</td> <td>5以上</td> <td>2以下</td> </tr> <tr> <td>上記以外の色相</td> <td>5以上</td> <td>1以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">無彩色</td> <td>N(白～黒)</td> <td>5以上</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 基調色とは，屋根の概ね全体，外壁の概ね3/4（75%）を超える割合で使用する色彩。なお，外壁に自然素材を使用する場合は，基調色の割合に含む。</p>	区分		色相	明度	彩度	建築物等の色彩	外壁	有彩色	YR(黄赤), Y(黄)	6以上	3以下	無彩色	N(白～黒)	—	—	屋根	有彩色	YR(黄赤), Y(黄)	5以上	3以下	R(赤), GY(黄緑), G(緑)	5以上	2以下	上記以外の色相	5以上	1以下	無彩色	N(白～黒)	5以上
区分		色相	明度	彩度																											
建築物等の色彩	外壁	有彩色	YR(黄赤), Y(黄)	6以上	3以下																										
		無彩色	N(白～黒)	—	—																										
	屋根	有彩色	YR(黄赤), Y(黄)	5以上	3以下																										
R(赤), GY(黄緑), G(緑)			5以上	2以下																											
上記以外の色相			5以上	1以下																											
無彩色	N(白～黒)	5以上	—																												

(第2面)

項目		基準及び配慮事項	配慮した内容
建築物・工作物等	設備機器	<input type="checkbox"/> 室外機等の設備機器は道路からの見え方に配慮し、直接見えない位置に設置する。やむを得ず設置する場合は、植栽や格子などで目隠しし修景を施すように努める。	
	照明	<input type="checkbox"/> 柔らかな光源色の落ち着いた照明を採用し、情緒ある夜間景観の演出に努める。	
	自動販売機	<input type="checkbox"/> 旧奥州街道に面した設置は極力避ける。設置する場合は、周囲の景観と調和した色彩やデザインとする。	
緑の保全・緑化		<input type="checkbox"/> 崖線の斜面緑地や寺社などにある貴重な樹木、地区のシンボルとなる樹木を保全・活用する。 <input type="checkbox"/> 通りを流れる掘割の適正な維持、管理をし、水と緑が調和した潤いある景観形成に努める。 <input type="checkbox"/> 有効空地、敷地の空地部分、敷地内の道路に面する部分などには、良好な景観を形成するための植栽等を積極的に行う。 <input type="checkbox"/> 季節感のある花や緑を用い、街並みを彩る修景植栽とし、潤いを与える演出に努める。	
その他		<input type="checkbox"/> 市全域の景観計画の届出対象行為（以下「大規模行為」という。）に該当する建築物及び工作物については、上記の基準のほか、大規模行為の制限内容（上記制限内容を除く。）についても遵守する。	

## 【大規模行為の配慮事項】

※ 配慮した事項にレ点を入れ、その内容を記入してください。

項 目		配慮事項	配慮した内容
建 築 物	外部 空間	エントランス	<input type="checkbox"/> 開放的な空間とし、できるだけ植栽やモニュメントなどを設置し、ゆとりと潤いを創りだす。
		駐車場 サービスヤード	<input type="checkbox"/> 周囲に生け垣、腰壁等を設置するなど通り沿いの快適さを保つ。 <input type="checkbox"/> 立体駐車場は建築物と一体的なデザインとし、街並みに調和させる。
		前面空地	<input type="checkbox"/> 壁面後退をできるだけ行い、通りと一体となる開放的な空間を創り、特に建物の低層部分は街並みに応じたデザインで工夫する。
	建築 要素	外階段	<input type="checkbox"/> 建築物本体との一体感や調和を考慮したデザインとする。
		窓・バルコニー	<input type="checkbox"/> 手すりやルーバーなどは不透明や半透明のものとするなど、建築設備類や洗濯物などを通りから直接見えにくくする。
		建築物の低層部	<input type="checkbox"/> 十分な開口部を設けるなど、親しみのある街並みを演出する。 <input type="checkbox"/> 商店街等は透視性のあるシャッターなどを用い、賑わいのある楽しい夜間景観を演出する。
	附属 施設 等	広告物 サイン類	<input type="checkbox"/> 大きさ、色、形状などに配慮し、建築物との一体性を考慮したデザインとする。
工 作 物	広告塔、広告板 高架水槽、擁壁等	<input type="checkbox"/> 周囲の景観に調和した位置、規模、色彩及びデザインとする。	
開 発 行 為		<input type="checkbox"/> 既存の樹木・地形などの自然条件を活かす工夫をする。 <input type="checkbox"/> 建物等の周辺やのり面は、樹木や草花で緑化を図り、四季の演出をほどこし、潤いを創りだす。	